

表 3380 使用透析液の種類 治療方法(新分類)別(腹膜透析単独患者)

治療方法 (新分類)	1.5%液のみ	1.5%液と2.5%液の併用	2.5%液のみ	4.25%液のみ(イコデキストリンなし)	イコデキストリン単独(ブドウ糖使用なし)	1.5%+イコデキストリン	1.5%+2.5%+イコデキストリン	2.5%+イコデキストリン	4.25%液+イコデキストリン	合計	不明	記載なし	総計
腹膜透析 (CAPD)	1,032	303	60	4	44	705	234	212	5	2,599	4	1,475	4,078
(%)	(39.7)	(11.7)	(2.3)	(0.2)	(1.7)	(27.1)	(9.0)	(8.2)	(0.2)	(100.0)			
腹膜透析 (APD)	794	158	55	7	6	349	113	93	4	1,579	2	712	2,293
(%)	(50.3)	(10.0)	(3.5)	(0.4)	(0.4)	(22.1)	(7.2)	(5.9)	(0.3)	(100.0)			
腹膜透析 (CCPD)	168	55	15	1	2	147	75	42	1	506		227	733
(%)	(33.2)	(10.9)	(3.0)	(0.2)	(0.4)	(29.1)	(14.8)	(8.3)	(0.2)	(100.0)			
合計	1,994	516	130	12	52	1,201	422	347	10	4,684	6	2,414	7,104
(%)	(42.6)	(11.0)	(2.8)	(0.3)	(1.1)	(25.6)	(9.0)	(7.4)	(0.2)	(100.0)			
記載なし (%)													
総計	1,994	516	130	12	52	1,201	422	347	10	4,684	6	2,414	7,104
(%)	(42.6)	(11.0)	(2.8)	(0.3)	(1.1)	(25.6)	(9.0)	(7.4)	(0.2)	(100.0)			

数値下のかっこ内は行方向の合計に対する%です。  
\*腹膜透析(CCPD)は、APDと手動のバック交換の両方を行うもの  
(C)Japanese Society for Dialysis Therapy  
2015年調査